

名取事務所公演 Theatre Office Natori

Браво, Лауренсия!

ブラボー、ラウレンシア!

ロシア現代劇連続上演シリーズ 第4作

作：ナジェージダ・プトゥーシキナ Надежда Птушкина

翻訳：大森 雅子 演出：原田 一樹

パ・ド・ドウを教えてくださいね!



新井 純・松崎 賢吾・千葉 綾乃・青山 眉子

美術=石原 敬 照明=桜井 真澄 音響=井出比呂之 (配役順)
衣裳=樋口 藍 舞台監督=市川 兵衛 監修=永田 靖
制作=栗原 暢隆 プロデューサー=名取 敏行 製作=名取事務所

2012年2月29日(水)～3月4日(日)

劇場：下北沢『劇』小劇場

入場料(全席指定)

前売り=4,000円 当日=4,500円 学生=2,000円(名取事務所のみにて取り扱い)

お問い合わせ：名取事務所Tel&Fax 03-3428-8355

後援：ロシア国立マールイ劇場 主催：名取事務所

助成：文化芸術振興費補助金
(トップレベルの舞台芸術創造事業)



Bravo, Laurencia!

ブラボー、ラウレンシア!

ロシア現代劇連続上演シリーズ 第4作

『ブラボー、ラウレンシア!』

元バレリーナのオリガは、最愛の息子オレグと二人暮らし。息子の幸せな結婚を強く望んでいる彼女は、控えめな年下の女性にお嫁に来てほしいと考えている。でも、オレグが母に紹介したのは、エーリヤという男勝りな年上の女性だった。エーリヤのことを息子が愛していると知って、ショックを隠せないオリガ。しかし、このことはオリガの人生にとって、ある大事件が明らかになるまでのプロローグにすぎなかった一バレエ大ロシアの劇作家が生み出した、芸術的で人情味あふれるコメディ。

ナジェージダ・プトゥーシキナ

1949年レニングラード(現サンクト・ペテルブルク)生まれ。1976年モスクワ芸術座付属演劇学校演出学部卒業。現代ロシアで最も人気のある劇作家の1人。演出家や映画監督としても幅広く活躍中。男女の恋愛関係や家族に関する戯曲を得意とする。代表作『彼女が亡くなるまでに』(1997年ペテルブルク初演)は、カナダ、オーストラリア、ヨーロッパ諸国、中国等で上演されており、日本では2005年に、『家族の写真』(俳優座劇場プロデュース、鶴山仁演出)というタイトルで初演された(2007年、2010年に再演)。その他の戯曲に、『他人の蠟燭の下で』(1995)、『ピサの斜塔』(1997)等。『ブラボー、ラウレンシア!』(2001年モスクワ初演)は、カザフスタン、ラトビア、エストニア等でも上演されている。



新井 純
フリー



松崎 賢吾
劇団俳優座



千葉 綾乃
Pカンパニー



青山 眉子
劇団俳優座

(配役順)

入場料:全席指定

前売り=4,000円 当日=4,500円 学生=2,000円(名取事務所のみにて取り扱い)

前売り・お問い合わせ

カンフェティチケットセンター 0120-240-540(平日10時~18時)

カンフェティWEB予約 <http://confetti-web.com/>

名取事務所Tel&Fax 03-3428-8355

〒154-0015 世田谷区桜新町2-21-7 白井ビル301

<http://www.nato.jp/>(お客様窓口よりチケットのお申し込みが出来ます)

お電話の際はお名前ご連絡先を必ずお知らせください。折り返しこちらからご連絡させていただきます。[チケットのお申し込みは、出来ましたら、お名前、ご住所、電話番号と、ご希望日時・枚数を明記の上、Faxにてお願いいたします。]

チケット代金振込先=(有)名取事務所

郵便振替 口座番号 00120-4-182879

銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 押上駅前支店 (当)197990

全席指定

開場は開演の30分前です。

開演時間	2月29日(水)	3月1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)
14:00	—	●	—	●	●
19:00	●	●	●	—	—

*開演時間を過ぎてのご入場は指定の席にご案内できない場合もございます。予めご了承下さい。

*未就学児童の入場はお断りしております。



下北沢「劇」小劇場 世田谷区北沢2-6-6 Tel.03-3466-0020

小田急線・京王井の頭線「下北沢」駅 南口下車3分

本多劇場斜め前

協力=(有)東京舞台企画・NPO舞台21・(有)juin 2004

劇団俳優座・劇団キンダースペース・Pカンパニー

(株)オフィスK2・(有)Luxe・(株)ワイズ

Theatre Office Natori

※名取事務所では今回の公演を手伝ってくださる方を募集しております。詳細は名取事務所まで。